

お待たせしました、職員向け情報紙「What's your SDGs ?」を創刊します。

SDGsは、2015年国連総会で採択された2030年を期限とする世界共通の目標です。

本市では、これに積極的に取り組むこととしていますが、まずは、分かりやすくSDGsを伝えるため、その概要や本市の取組、国や他都市はもとより民間企業の動きなどを職員の皆さんに隔週で届けます。

今回の創刊準備号では、下図を踏まえつつ、**我々人類とこの地球が直面する課題などSDGs策定に至る背景に加え、それらと静岡市との関わり**を探っていきます。

また、本市の取組を発信する一環としてのホームページへの掲載や、紙面充実に向けた各局の皆さんへの取材も検討していますので、よろしくお願ひします。

今、私たちの身の回りを見てみると・・・

ヤバイヨやばいよ！！！！



出典：第1回SDGs推進円卓会議資料5-5

稲葉雅紀 委員、黒田かをり 委員、大西連 委員 提出資料

1 キホンテキ人權って???

「・・・。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」

唐突ですが、我々公務員が尊重し擁護する義務を負う日本国憲法の前文からの抜粋です。

翻って、現実世界では・・・。

専制体制を布く国、紛争が続く欧州諸国に押し寄せる難民、1日1ドル以下で生活し食糧難にあえぐ人々、医療・衛生環境の未整備と相まっての疫病で消えていく幼い命・・・。

日本国憲法が確認した全世界の国民の権利が保障されているとは言い難い状況です。

一方、我が国にあっては、貧困

の連鎖や格差の拡大、女性の「見えない天井」、さらには災害由来の生活困窮や痛ましい過労死など、様々な場面で「人間の安全保障」につながる問題を見ることができます。

このような問題は、社会の持続可能性を大きく損なうもので、社会不安の増大、さらには治安悪化を招きかねないものであることは想像に難くありません。

さらに、なりすまし詐欺等の横行から個人情報保護が重視されてきたように、治安悪化は、様々な間接コストを引き上げるものであることにも留意する必要があります。

2 地球の限界???

毎年のように襲い来る熱波や寒波、さらには台風被害。連日の記録的な暑さや頻発するゲリラ豪雨などは、地球が悲鳴を上げ、私たちに警鐘を鳴らしているかのようにも映ります。

これらは、我が国のみにとどまらない世界規模の現象で、**地球の限界**を超えた経済活動が気候変動をもたらしたと考えることもできます。

この他、フロンガスによるオゾン層破壊、生物・遺伝的多様性の減少や酸性雨など、地球の限界を窺える様々な事象も指摘できます。

さらに、環境問題に加え、天然資源の枯渇なども地球の限界の一例といえるかもしれません。

経済活動の源泉ともいえる天然資源が枯渇し、経済活動の結果が異常気象であるのなら、今までの成長モデルを継続していくことは、もはや不可能なものになっているのかもしれない。

3 静岡市はどうだろうか???

「人間の安全保障」や「地球の限界」について紹介しましたが、これらのことは、遠い国の出来事であり、本市には関係ないと思っている方も多いのではないのでしょうか。

しかし、私たちは静岡市民であると同時に日本国民であり、さらに視野を広げれば地球人でもあります。天然資源が乏しく食糧自給率も低い我が国にあって、私たちの生活が何処かの国の誰かに支えられ、私たちの活動が世界のどこかに影響を及ぼしていることに思いを馳せれば、この地球で起きていることを他人事としてよいのでしょうか。

さらに、市内に目を移してみると、世界が抱えている問題が、実際の事象として現れてきているかのような例も見受けられます。

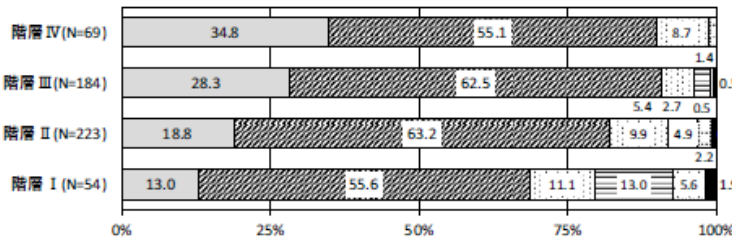
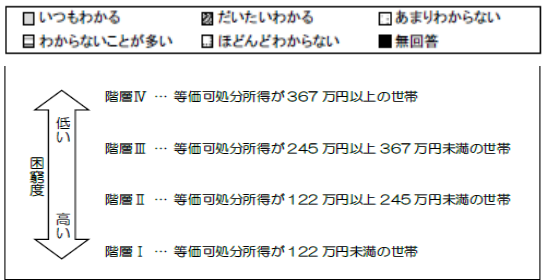
(1) 人間の安全保障「貧困」

下の図は、静岡市子どもの貧困対策推進計画の見直しに当たり実施した「子どもの生活実態調査」結果の一部で、回答を子どもが所属する世帯の可処分所得階層別に分類しています。

調査結果を見ると、階層が低くなるに従い授業の理解度も低くなっています。

③ 学校の授業が分かるか【子ども問 20】

13歳



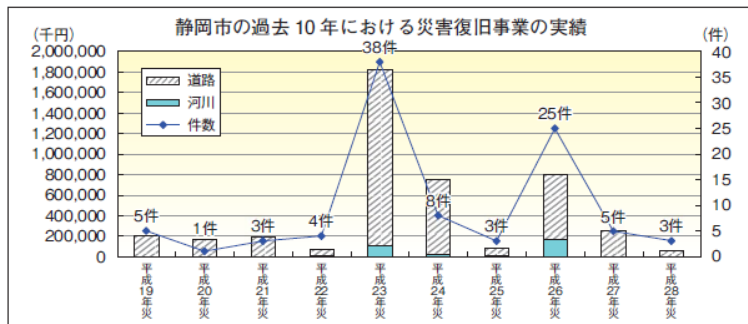
出典：静岡市子どもの貧困対策推進計画 平成29年度見直し（平成29年3月 静岡市）

(2) 地球の限界「異常気象（台風災害）」

個人的な感覚ですが、昔に比べ、春と秋が著しく短くなったように思えます。

また、これも異常気象の影響なのか、平成26年の台風18号によるJR東海道本線興津駅から由比駅の間での土砂流入、平成23年にまで遡れば台風15号及び23号による人的被害まで含めた土砂災害など、近年、市内でも台風による大きな被害を受けています。

過去の静岡市の災害復旧状況



出典：静岡市建設局事業概要2017



4 世界の課題はアタシとアナタのリスクです。

前ページの図が訴えるように、世界も日本も『持続可能性』において大きな課題を抱えています。さらに、世界にも日本にも、『取り残され』ている人々がいます。

そして、そこから導かれる事象は、私たちの生活や活動に大きな影響を及ぼします。

そう、世界が抱える課題は決して他人事ではなく、常に我々の身近で息を潜めている恐るべきリスクなのです。

さらに、我が国は、世界の先進国に先駆け人口減少に加え超少子高齢化が進み、経済のパイの縮小、地域の担い手の減少、社会保障費の増大などの課題を抱えているということからも目を背けてはいけません。

次回予告！！ 次号では、これら世界的な課題に対する国連の動きを紹介します。